

献血者確保対策について(厚生労働省の取り組み)

① 若年層の献血者数の増加

目標:10代の献血率を6.4%、20代の献血率を8.4%まで上昇させる。(平成26年度までの達成目標)

- ・10代:平成23年度:5.8% → 平成24年度:6.2%
(献血者数: 285,020人 → 298,923人)
- ・20代:平成23年度:7.5% → 平成24年度:7.5%
(献血者数:1,018,234人 → 992,779人)

◎ 中学生への普及啓発

○血液の重要性や必要性について理解を深めるため、全国の中学校にポスターを配布。

- ・平成24年度配布数: 11,435校に3.4万枚



◎ 高校生への普及啓発

○献血及び血液事業に対する理解を促進するため、全国の高校生及び教員へ献血についての副読本(けんけつHOP STEP JUMP)を配布。

- ・平成24年度配布数: [生徒用]6,236校に114万部、[教員用]6.2万部



◎ 学校における献血に触れ合う機会の受入れの推進

○高等学校等が献血セミナーや学校献血等の献血に触れ合うための機会を積極的に受入れてもらえるように文部科学省へ協力を要請(平成23年度より毎年度要請)

◎ 主に10代、20代の若年層を対象とした普及啓発

○「はたちの献血」キャンペーン(毎年1~2月)啓発宣伝用ポスターを都道府県及び関係団体等に配布。

- ・平成24年度配布数: 4.2万枚



② 安定的な集団献血の確保【日本赤十字社に対する国庫補助（1/2補助）。但し、補助事業は平成24年度まで】

目標：集団献血等に協力する企業を50,000社まで増加させる。（平成26年度までの達成目標）

- ◎ 献血に積極的に協力する企業・団体が行う献血活動を社会貢献活動の一つとして広く一般社会に認知されるよう、「献血サポーター」ロゴマークを配布する等により企業・団体が行う献血活動の普及・拡大を図る。

○集団献血に協力して頂いた企業・団体数（累計）

・平成23年度末：47,137社　・平成24年度末：49,232社

○「献血サポーター」ロゴマーク配布枚数

・平成23年度：1,168社　・平成24年度：2,030社



私たちは
献血推進キャンペーンを
応援しています。

③ 複数回献血の増加【日本赤十字社に対する国庫補助（1/2補助）。但し、補助事業は平成24年度まで】

目標：複数回献血者を年間120万人まで増加させる。（平成26年度までの達成目標）

- ◎ 複数回献血者を確保するため、血液センター毎に複数回献血者を確保するためのクラブを設立し、複数回献血者の確保を図る。

○クラブ会員数（全国）：67万人（平成24年度末）

○クラブ会員の实献血者数：44万人（うち2回以上献血をした人：26万人）

○非クラブ会員の实献血者数：263万人（うち2回以上献血をした人：74万人）

○複数回献血者数

・平成23年度：1,001,516人　・平成24年度：1,003,778人

④ その他の普及啓発(全国民的な普及啓発)

◎ 「愛の血液助け合い運動」(毎年7月)

○厚生労働省、都道府県、日本赤十字社の主催により実施。啓発宣伝用ポスターを都道府県及び関係団体等に配布。

・平成24年度配布数：4.0万枚　・平成25年度配布数：4.0万枚

○「愛の血液助け合い運動」の一環として「献血運動推進全国大会」(毎年7月)を開催。

・平成25年度は、皇太子殿下に御臨席を賜り、福岡県福岡市において開催(7月5日)。

◎ テレビ、ラジオ、新聞等の政府広報を積極的に活用した普及啓発を実施。

・平成24年度：政府インターネットテレビ、ラジオ番組、ラジオCM40秒、
モバイル広告、厚生労働省広報誌「厚生労働」、
新聞広告、視覚障害者向け音声CDの作成、
インターネットテキスト広告

・平成25年度(8月末現在)：政府広報オンラインお役立ち情報掲載、
ラジオ番組、新聞広告、インターネット広告、
厚生労働省広報誌「厚生労働」

